



## 2021年3月期 決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年4月28日

上場会社名 株式会社エフ・シー・シー 上場取引所 東  
 コード番号 7296 URL <https://www.fcc-net.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 斎藤 善敬  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員事業管理統括 (氏名) 大石 安孝 TEL 053-523-2400  
 定時株主総会開催予定日 2021年6月22日 配当支払開始予定日 2021年6月23日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月24日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

#### （1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	146,157	△14.6	6,966	△11.8	8,313	25.0	4,644	15.3	4,462	13.8	12,067	—
2020年3月期	171,060	△3.7	7,896	△50.2	6,653	△59.7	4,028	△66.3	3,921	△66.7	△2,068	—

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	89.81	—	3.6	4.9	4.8
2020年3月期	78.92	—	3.2	4.0	4.6

（参考）持分法による投資損益 2021年3月期 △19百万円 2020年3月期 △15百万円

#### （2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	175,644	131,996	130,239	74.1	2,621.16
2020年3月期	161,727	122,486	120,869	74.7	2,432.56

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	12,971	△8,522	△3,175	39,607
2020年3月期	25,079	△10,597	△8,990	35,350

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	29.00	—	29.00	58.00	2,881	73.5	2.3
2021年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00	1,987	44.5	1.6
2022年3月期(予想)	—	26.00	—	26.00	52.00		27.2	

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	83,000	39.9	6,000	—	6,200	—	4,100	—	4,000	—	80.50
通期	168,000	14.9	13,500	93.8	14,000	68.4	9,700	108.8	9,500	112.9	191.19

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	52,644,030株	2020年3月期	52,644,030株
② 期末自己株式数	2021年3月期	2,956,232株	2020年3月期	2,956,099株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	49,687,904株	2020年3月期	49,688,010株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	34,224	△10.7	△1,511	—	3,175	26.9	1,050	—
2020年3月期	38,337	△6.2	△134	—	2,503	△60.2	△179	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	21.15	—
2020年3月期	△3.61	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	80,133	66,153	66,153	66,153	82.6	1,331.38
2020年3月期	82,768	65,953	65,953	65,953	79.7	1,327.36

(参考) 自己資本 2021年3月期 66,153百万円 2020年3月期 65,953百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2021年5月13日に決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結財政状態計算書 .....	4
(2) 連結損益計算書 .....	6
(3) 連結包括利益計算書 .....	7
(4) 連結持分変動計算書 .....	8
(5) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(6) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報) .....	11
(1株当たり利益) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における経済状況は、新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動が大幅に抑制されましたが、第1四半期を底に総じて持ち直しの動きが見られました。自動車業界では、国内外における二輪車、四輪車の販売の減少や生産活動の停止等もあり大変厳しい状況となりましたが、第2四半期以降は回復傾向が続きました。このような状況の中、当連結会計年度の業績は、二輪車用クラッチ、四輪車用クラッチの販売が減少し、売上収益は146,157百万円（前期比14.6%減）となりました。営業利益は、前期に計上した補償費用や減損損失の影響が無くなったものの、減収に伴う利益の減少により6,966百万円（前期比11.8%減）となりました。税引前当期利益は、金融費用の減少により8,313百万円（前期比25.0%増）となりました。親会社の所有者に帰属する当期利益は4,462百万円（前期比13.8%増）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

## (二輪車用クラッチ)

インドネシアやインドの二輪車用クラッチの販売が減少したこともあり、売上収益は65,197百万円（前期比18.6%減）、営業利益は5,904百万円（前期比40.7%減）となりました。

## (四輪車用クラッチ)

中国の四輪車用クラッチの販売は堅調に推移したものの、米国の販売が減少したこともあり、売上収益は80,959百万円（前期比11.0%減）となりました。営業利益は、前期に計上した補償費用や減損損失の影響が無くなったものの、減収に伴う利益の減少により2,177百万円（前期は1,096百万円の営業損失）となりました。

地域別の状況は、次のとおりであります。

## (日本)

二輪車用クラッチ、四輪車用クラッチの販売が減少したこともあり、売上収益は21,022百万円（前期比9.0%減）となりました。営業損益は、前期に計上した補償費用の影響が無くなったものの、減収に伴う利益の減少により2,156百万円の営業損失（前期は2,920百万円の営業損失）となりました。

## (米国)

四輪車用クラッチの販売が減少したこともあり、売上収益は55,004百万円（前期比14.4%減）、営業利益は854百万円（前期比47.3%減）となりました。

## (アジア)

中国の四輪車用クラッチの販売は堅調に推移したものの、インドネシアやインドの二輪車用クラッチの販売が減少したこともあり、売上収益は64,874百万円（前期比15.7%減）、営業利益は7,016百万円（前期比26.5%減）となりました。

## (その他)

メキシコの四輪車用クラッチ、ブラジルの二輪車用クラッチの販売が減少したこともあり、売上収益は5,256百万円（前期比21.5%減）となりました。営業利益は、前期に計上したメキシコにおける減損損失の影響が無くなったこともあり1,143百万円（前期は1,183百万円の営業損失）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び資本の状況

## (流動資産)

当連結会計年度末の流動資産は99,548百万円となり、前連結会計年度末に比べ16,789百万円増加しました。これは主に営業債権及びその他の債権が7,481百万円、現金及び現金同等物が4,257百万円、その他の金融資産が2,379百万円増加したことによるものであります。

## (非流動資産)

当連結会計年度末の非流動資産は76,096百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,872百万円減少しました。これは主にその他の金融資産が1,702百万円増加したものの、有形固定資産が3,921百万円減少したことによるものであります。

## (流動負債)

当連結会計年度末の流動負債は33,336百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,691百万円増加しました。これは主に引当金が2,880百万円減少したものの、営業債務及びその他の債務が4,801百万円、その他の流動負債が1,537百万円増加したことによるものであります。

## (非流動負債)

当連結会計年度末の非流動負債は10,311百万円となり、前連結会計年度末に比べ715百万円増加しました。これは主に繰延税金負債が706百万円増加したことによるものであります。

## (資本)

当連結会計年度末の資本は131,996百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,509百万円増加しました。これは主にその他の資本の構成要素が7,007百万円、利益剰余金が2,363百万円増加したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は39,607百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は12,971百万円となりました。主な増加の要因は、税引前当期利益8,313百万円、減価償却費及び償却費13,567百万円、営業債務及びその他の債務の増加額3,247百万円によるものであります。主な減少の要因は、営業債権及びその他の債権の増加額5,989百万円、法人所得税の支払額3,999百万円、引当金の減少額2,880百万円によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は8,522百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出5,488百万円、定期預金の預入による支出2,456百万円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は3,175百万円となりました。これは主に配当金の支払額2,434百万円によるものであります。

## (4) 今後の見通し

次期の見通しは、ワクチン開発や接種の広がりにより新型コロナウイルス感染症の収束が期待される一方で、変異種による感染症の再拡大や都市封鎖の再開、半導体の供給不足等のリスクに留意する必要があるとあり、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況の中、二輪車用クラッチ、四輪車用クラッチの販売はともに回復することを見込んでおります。

現時点における2022年3月期の連結業績見通しは次のとおりであります。

売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当た り当期利益
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
168,000	13,500	14,000	9,700	9,500	191.19

なお、業績見通しの前提となる主要通貨の為替レートは、次のとおりであります。

米ドル 105円 タイバーツ 3.48円 インドネシアルピア 0.0074円 インドルピー 1.41円

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性および利便性の向上を図るため、2015年3月期の有価証券報告書における連結財務諸表から国際会計基準（IFRS）を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	35,350	39,607
営業債権及びその他の債権	24,229	31,710
その他の金融資産	2,114	4,493
棚卸資産	19,366	21,276
その他の流動資産	1,697	2,459
流動資産合計	82,759	99,548
非流動資産		
有形固定資産	61,491	57,570
のれん及び無形資産	4,520	3,934
持分法で会計処理されている投資	63	152
その他の金融資産	10,374	12,076
繰延税金資産	2,388	2,213
その他の非流動資産	129	148
非流動資産合計	78,968	76,096
資産合計	161,727	175,644

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	11,199	16,000
借入金	7,206	7,208
その他の金融負債	345	492
未払法人所得税	2,133	2,217
引当金	2,880	—
その他の流動負債	5,881	7,418
流動負債合計	29,645	33,336
非流動負債		
借入金	1	—
その他の金融負債	1,189	1,238
退職給付に係る負債	1,470	1,251
引当金	29	29
繰延税金負債	6,625	7,331
その他の非流動負債	280	460
非流動負債合計	9,596	10,311
負債合計	39,241	43,648
資本		
資本金	4,175	4,175
利益剰余金	123,579	125,943
自己株式	△4,787	△4,788
その他の資本の構成要素	△2,098	4,908
親会社の所有者に帰属する持分合計	120,869	130,239
非支配持分	1,617	1,756
資本合計	122,486	131,996
負債及び資本合計	161,727	175,644

## (2) 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上収益	171,060	146,157
売上原価	△142,919	△123,291
売上総利益	28,141	22,866
販売費及び一般管理費	△15,813	△15,624
その他の収益	950	851
その他の費用	△5,381	△1,126
営業利益	7,896	6,966
金融収益	1,025	1,396
金融費用	△2,253	△29
持分法による投資損益	△15	△19
税引前当期利益	6,653	8,313
法人所得税費用	△2,624	△3,668
当期利益	4,028	4,644
当期利益の帰属		
親会社の所有者	3,921	4,462
非支配持分	106	182
当期利益	4,028	4,644
1株当たり当期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり当期利益(円)	78.92	89.81
希薄化後1株当たり当期利益(円)	—	—



## (3) 連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期利益	4,028	4,644
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	166	334
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の公正価値の変動	△912	1,532
計	△745	1,867
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△5,343	5,575
持分法適用会社におけるその他の包括 利益に対する持分	△8	△19
計	△5,351	5,555
その他の包括利益合計	△6,097	7,423
当期包括利益	△2,068	12,067
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△2,124	11,805
非支配持分	55	262
当期包括利益	△2,068	12,067

## (4) 連結持分変動計算書

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	利益 剰余金	自己 株式	その他の資本の構成要素	
				在外営業活動 体の換算差額	その他の包括利 益を通じて公正 価値で測定する 金融資産の公正 価値の変動
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2019年4月1日時点の残高	4,175	122,365	△4,787	187	3,934
当期利益	—	3,921	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	△5,310	△901
当期包括利益合計	—	3,921	—	△5,310	△901
自己株式の取得	—	—	△0	—	—
配当金	—	△2,881	—	—	—
その他の資本の構成要素 からの振替	—	175	—	—	△8
所有者との取引額合計	—	△2,706	△0	—	△8
2020年3月31日時点の残高	4,175	123,579	△4,787	△5,122	3,024
当期利益	—	4,462	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	5,490	1,517
当期包括利益合計	—	4,462	—	5,490	1,517
自己株式の取得	—	—	△0	—	—
配当金	—	△2,434	—	—	—
その他の資本の構成要素 からの振替	—	335	—	—	△0
所有者との取引額合計	—	△2,098	△0	—	△0
2021年3月31日時点の残高	4,175	125,943	△4,788	367	4,541

	親会社の所有者に帰属する持分				資本合計
	その他の資本の構成要素		合計	非支配持分	
	確定給付制度の再測定	合計			
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2019年4月1日時点の残高	—	4,122	125,875	1,652	127,527
当期利益	—	—	3,921	106	4,028
その他の包括利益	166	△6,045	△6,045	△51	△6,097
当期包括利益合計	166	△6,045	△2,124	55	△2,068
自己株式の取得	—	—	△0	—	△0
配当金	—	—	△2,881	△90	△2,972
その他の資本の構成要素からの振替	△166	△175	—	—	—
所有者との取引額合計	△166	△175	△2,882	△90	△2,972
2020年3月31日時点の残高	—	△2,098	120,869	1,617	122,486
当期利益	—	—	4,462	182	4,644
その他の包括利益	334	7,343	7,343	79	7,423
当期包括利益合計	334	7,343	11,805	262	12,067
自己株式の取得	—	—	△0	—	△0
配当金	—	—	△2,434	△123	△2,557
その他の資本の構成要素からの振替	△334	△335	—	—	—
所有者との取引額合計	△334	△335	△2,434	△123	△2,558
2021年3月31日時点の残高	—	4,908	130,239	1,756	131,996

## (5) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期利益	6,653	8,313
減価償却費及び償却費	13,838	13,567
減損損失	2,167	777
金融収益及び金融費用	△959	△918
持分法による投資損益 (△は益)	15	19
固定資産除売却損益 (△は益)	9	11
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△503	△655
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	2,413	△5,989
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	189	3,247
退職給付に係る負債の増減 (△は減少)	△236	26
引当金の増減額 (△は減少)	2,880	△2,880
その他	1,682	526
小計	28,148	16,046
利息及び配当金の受取額	945	965
利息の支払額	△126	△50
法人所得税の支払額	△4,004	△3,999
法人所得税の還付及び還付加算金の受取額	116	9
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,079	12,971
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,239	△2,456
定期預金の払戻による収入	457	1,203
有形固定資産の取得による支出	△8,584	△5,488
有形固定資産の売却による収入	567	130
無形資産の取得による支出	△1,307	△1,449
無形資産の売却による収入	0	—
関連会社株式の取得による支出	—	△108
貸付けによる支出	△119	△163
貸付金の回収による収入	137	142
投資の取得による支出	△482	△1,231
投資の売却及び償還による収入	10	1,876
その他	△38	△977
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,597	△8,522
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△5,527	△18
リース負債の返済による支出	△489	△599
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△2,882	△2,434
非支配株主への配当金の支払額	△90	△123
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,990	△3,175
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,491	1,273
現金及び現金同等物の期首残高	32,444	35,350
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,585	2,983
現金及び現金同等物の期末残高	35,350	39,607

(6) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは、二輪車用クラッチ事業については主に二輪事業統括が、四輪車用クラッチ事業については主に四輪事業統括がそれぞれ国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業を展開しております。したがって、当社グループは、「二輪車用クラッチ」及び「四輪車用クラッチ」の2つを報告セグメントとしております。「二輪車用クラッチ」は、オートバイ、スクーター及びA T Vのクラッチ等を生産しております。「四輪車用クラッチ」は、マニュアル車及びオートマチック車のクラッチ等を生産しております。

## (2) 報告セグメントの収益及び業績

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

	報告セグメント			調整額	連結
	二輪車用クラッチ	四輪車用クラッチ	合計		
	百万円	百万円	百万円		
売上収益					
外部収益	80,090	90,970	171,060	—	171,060
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	80,090	90,970	171,060	—	171,060
減価償却費及び償却費	△5,133	△8,640	△13,773	△64	△13,838
その他の損益	△64,993	△83,425	△148,418	△906	△149,325
営業利益又は 営業損失 (△)	9,963	△1,096	8,867	△970	7,896
金融収益					1,025
金融費用					△2,253
持分法による投資損益					△15
税引前当期利益					6,653

(注) その他の損益には、減損損失2,167百万円 (二輪車用クラッチ480百万円、四輪車用クラッチ1,687百万円) が含まれております。

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

	報告セグメント			調整額	連結
	二輪車用クラッチ	四輪車用クラッチ	合計		
	百万円	百万円	百万円		
売上収益					
外部収益	65,197	80,959	146,157	—	146,157
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	65,197	80,959	146,157	—	146,157
減価償却費及び償却費	△5,189	△8,246	△13,435	△122	△13,557
その他の損益	△54,103	△70,536	△124,640	△992	△125,632
営業利益	5,904	2,177	8,081	△1,115	6,966
金融収益					1,396
金融費用					△29
持分法による投資損益					△19
税引前当期利益					8,313

(注) その他の損益には、減損損失777百万円 (二輪車用クラッチ777百万円) が含まれております。

## (1株当たり利益)

普通株主に帰属する基本的1株当たり当期利益の算定基礎

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社の普通株主に帰属する当期利益 (百万円)	3,921	4,462
普通株式の加重平均株式数 (千株)	49,688	49,687
基本的1株当たり当期利益 (円)	78.92	89.81

(注) 希薄化後1株当たり当期利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。